

施策No.	政策名	生きがいを育む学びのまちづくり	主管課	スポーツ振興課	主管課長名	
2-4	施策名	生涯スポーツ活動の振興	関係課	健康推進課、学校教育課、生涯学習課		

1. 施策の目的と成果把握

目的	施策の対象	対象指標名	単位	区分	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
	市民	①桜川市人口	見込値	人		37,653	37,269	36,885	36,500	35,897
実績値						37,653	36,794			
見込値										
			実績値							
施策の意図		成果指標名	単位	区分	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
スポーツを通じて健康で豊かな生活を送っている。		①週1回以上スポーツを行っている市民の割合	%		目標値	42.0	44.0	46.0	48.0	50.0
					実績値	40.8	41.4			
		②スポーツを通じて健康で豊かな生活を送っている市民の割合	%		目標値	66.0	67.0	68.0	69.0	70.0
					実績値	55.2	53.3			
		③市のスポーツ施設利用者延べ人数	人		目標値	278,000.0	280,000.0	282,000.0	284,000.0	286,000.0
	実績値				192,616.0	211,053.0				
	④スポーツ少年団登録指導者数	人		目標値	86	87	88	89	90	
				実績値	80	95				
成果指標設定の考え方	○スポーツを通じて健康で明るい豊かな生活が出来ているかは、アンケートにより、①「週1回以上スポーツを行っている市民の割合」(実施率)と、②スポーツを日常的に行っている市民の中で、「スポーツを通じて健康で明るい生活を送っていると答えた市民の割合」において把握する。									
成果指標の把握方法及算定式等	○対象の人口は、毎年10月1日の常住人口。 ○①週1回以上スポーツを行っている市民の割合、②スポーツを通じて健康で豊かな生活を送っている市民の割合は、市民アンケートより求める。③市のスポーツ施設利用者延べ人数は、市内体育施設及び小学校体育施設使用許可申請書より求める。④スポーツ少年団登録指導者数は、スポーツ少年団の指導者登録人数より求める。									

2. 施策の成果水準とその背景・要因

1)現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)			
実績比較	<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した	<input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した	<input type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態)
	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した	<input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	
背景・要因	○スポーツ実施率(週1回以上スポーツを行っている市民の割合)は令和4年度40.8%と比較すると0.6ポイント増加した。新型コロナウイルス感染症の影響が収束してきたことが増加の要因と考えられる。また、スポーツをしている人の中で、スポーツを通じて健康で明るい生活を送っている市民は、令和4年度55.2%と比較すると1.9ポイント減少している。令和5年度はマラソン大会を5年ぶりに開催できたのでそれに伴い市民の皆様はスポーツを身近に感じてもらえるようにし、ポイント増加につなげたい。		
	○スポーツ施設の延べ利用者数は、令和2年度146,311人、令和3年度122,641人と減少し、令和4年度実績では192,616人、令和5年度実績211,053人と増加している。その要因は、新型コロナウイルス感染症が収束し日常を取り戻しつつあることが考えられる。 ○スポーツ少年団指導者数は前年比15人増加した。これは、制度改正前の指導者資格から制度改正後の指導者資格への移行手続きが進んだことが要因と見られる。		
2)成果目標の達成状況			
実績比較	<input type="checkbox"/> 目標値の全てを上回った	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った	<input type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった
	<input checked="" type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った	<input type="checkbox"/> 目標値の全てを下回った	
背景・要因	○週1回以上のスポーツ実施率の目標値44.0%に対して41.4%と2.6ポイント下回っている。 ○スポーツを通じて健康で豊かな生活を送っている市民の割合については、目標値67.0%に対して53.3%と13.7ポイント下回っている。 ○市のスポーツ施設利用者延べ人数は、目標値280,000人に対して211,053人と68,947人下回っている。 ○スポーツ少年団登録指導者数は、目標値87人に対して95人と8人上回っている。		

3. 施策の成果実績に対するの総括と今後の課題・方針

施策の成果実績に対するの総括	今後の課題・方針
<p>令和5年度、貢献した事務事業は「桜川市さくらマラソン大会運営事業」「スポーツ少年団育成助成事業」であった。</p> <p>「桜川市さくらマラソン大会運営事業」では、コロナ感染症により開催を自粛していたマラソン大会を5年ぶりに開催することができた。前回開催から期間が空いてしまい準備等に手間どった部分もあったが、実行委員会を中心に盛大に開催することができ、参加者から概ね好評を頂いた。</p> <p>「スポーツ少年団育成助成事業」については、制度改正前の指導者資格から制度改正後の指導者資格への移行手続きを進めるよう周知したほか、新たに指導者資格を取得する方向けの講習会である公認スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会の受講料の一部を助成し、指導者数の増加につなげることができた。</p>	<p>新型コロナの感染拡大により中止していたマラソン大会を実施した。5年ぶりの開催であったが実行委員会等の協力により円滑に大会を開催することができた。次年度は実行委員会を通し、振り返りなどを行い問題点を確認し、より良い大会の開催を目指す。</p> <p>公認スタートコーチ(スポーツ少年団)講習会を桜川市スポーツ少年団で主管してほしいとの意見をいただいた。令和7年度の開催に向け、費用負担等開催の可否も含め検討を進める。</p> <p>安全で快適にスポーツ施設が利用できるよう、老朽施設の修繕・改修を行うことにより、施設の充実に努める。温水プールサンバルについては、老朽化が顕著であることから大規模改修を踏まえた協議を重ねていく。</p>